

中学地理プリント（過去問類似）

世界の姿と緯度経度

名前

得点

/8

問1 日本の標準時子午線である東経135度の経線と、カナダのバンクーバー付近を通る西経120度の経線の間には、経度にして合計255度の差がある。この条件において、日本が1月1日の午後6時（18時）のとき、バンクーバーではどのような日時になっているか答えなさい。（2019年 熊本県公立入試 類似）

1. 1月1日の午前1時 2. 1月1日の午前11時 3. 1月2日の午前1時 4. 1月2日の午前11時

問2 日本は多くの工業資源を海外からの輸入に頼っています。鉄鉱石の産出分布と日本の貿易の関係について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。（2026年 大阪公立入試 類似）

1. オーストラリアやブラジルが世界的な主要産出国であり、日本はこれらの国から多くの鉄鉱石を輸入している。 2. 鉄鉱石は主に東南アジアの島々で産出されるため、日本は距離の近いインドネシアからの輸入を最大としている。 3. 中国やインドが世界シェアのほとんどを占めているため、日本はアジア諸国のみから鉄鉱石を調達している。 4. 鉄鉱石は北米やロシアの寒冷地で主に産出されるため、日本は北半球の諸国との貿易に依存している。

問3 世界の大地形を分類したとき、ヨーロッパからインド北部、東南アジアへと続く山岳地帯に見られる共通の特色として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 香川公立入試 類似）

1. プレートの運動による造山活動が現在も活発であり、標高の高い険しい山脈が連なっている。 2. 地球上で最も古い時期に造山活動が終わり、長期間の浸食を受けて平坦な大地になっている。 3. 古生代に激しい造山運動を受けた地域であり、なだらかな山脈が続き石炭の埋蔵量が多い。 4. 太平洋を囲むように分布しており、日本列島などのように火山活動や地震が非常に多い。

問4 世界各地の位置を緯度と経度で表す仕組みについて、正しく述べているものはどれか。（2025年 和歌山公立入試 類似）

1. 緯度は赤道を0度として南北にそれぞれ90度まで、経度は本初子午線を0度として東西にそれぞれ180度までで表す。 2. 緯度は本初子午線を0度として東西にそれぞれ90度まで、経度は赤道を0度として南北にそれぞれ180度までで表す。 3. 緯度は赤道を0度として南北にそれぞれ180度まで、経度は本初子午線を0度として東西にそれぞれ90度までで表す。 4. 緯度と経度はともに、イギリスのロンドンを通る地点を0度として、世界全体を360度の範囲で表す。

問5 アメリカ合衆国、スイス、日本、ポルトガルの4カ国における、1990年から2020年にかけての1人あたりのGDPの推移や特徴について説明した文として、適切なものはどれですか。（2024年 埼玉県公立入試 類似）

1. アメリカ合衆国とスイスは、1990年から2020年にかけて1人あたりのGDPが顕著に伸びている。 2. 1990年の時点において、1人あたりのGDPが2万ドルを超えていたのは4カ国のうち2カ国のみである。 3. 日本の1人あたりのGDPについて、1990年の数値は2020年の数値の半分以下の水準にとどまっている。 4. 2020年における日本の1人あたりのGDPは、アメリカ合衆国よりも高い水準を維持している。

問6 サトウキビを原料としたバイオエタノールの生産が非常に盛んで、ガソリンとエタノールのどちらでも走行できる「フレックス燃料車」が広く普及している南アメリカの国はどこですか。（2022年 栃木県公立入試 類似）

1. ブラジル 2. アルゼンチン 3. チリ 4. ペルー

問7 高知県佐川町周辺を描いた2万5千分の1地形図において、ある地点に「200.7」という数値が記されています。このように、地形図上で特定の地点の海面からの高さを直接数値で示したものを何と呼びますか。（2024年 和歌山公立入試 類似）

1. 標高点 2. 等高線 3. 等圧線 4. 水準点

問8 航空機の航路を検討する際などに利用される、東京を中心とした正距方位図法の性質について述べた文として、最も適切なものはどれか。（2021年 徳島公立入試 類似）

1. 図の中心から各地点を結ぶ直線が、実際の最短距離（大圏航路）を表している。 2. 地図上のどの二点間を結んでも、その直線が実際の最短距離を表している。 3. 面積が正しく表現されるため、低緯度から高緯度まで各国の領土の広さを比較するのに適している。 4. 角度が正しく表現されるため、地図上の任意の二点を結ぶ直線が一定の角度を保つ等角航路となる。

答え合わせ・解説

| | | |
|----|---|---|
| 問1 | 答え 1 1月1日の午前1時 | 地球は24時間で360度回転するため、経度15度につき1時間の時差が生じる。本初子午線を挟んで東経135度と西経120度を合計すると255度の経度差があり、これを15度で割ると17時間の時差が算出される。日本は世界の中でも時刻が進んでいる東側に位置するため、日本の時刻から17時間を差し引くことで、バンクーバーの時刻が同日の午前1時であることが導き出される。 |
| 問2 | 答え 1 オーストラリアやブラジルが世界的な主要産出国であり、日本はこれらの国から多くの鉄鉱石を輸入している。 | 鉄鉱石は世界的に産地が偏っており、特にオーストラリアとブラジルは巨大な鉄鉱山を有して世界市場で高いシェアを誇ります。資源の乏しい日本は、これら南半球の国々から大型の専用船を用いて大量の鉄鉱石を輸入し、沿岸部の鉄鋼コンビナートで加工することで工業を支えています。 |
| 問3 | 答え 1 プレートの運動による造山活動が現在も活発であり、標高の高い険しい山脈が連なっている。 | この地域はアルプス・ヒマラヤ造山帯と呼ばれ、プレートが互いに押し合う境界付近に位置しています。そのため、地殻変動が現在進行形で続いており、急峻な山々が形成されています。石炭の埋蔵量が多いのは古期造山帯、平坦な大地は安定陸塊、太平洋を囲むのは環太平洋造山帯の解説です。 |
| 問4 | 答え 1 緯度は赤道を0度として南北にそれぞれ90度まで、経度は本初子午線を0度として東西にそれぞれ180度までで表す。 | 緯度は、赤道から北を北緯、南を南緯とし、それぞれ極点（北極・南極）までの90度で表す。経度は、イギリスの旧グリニッジ天文台を通る本初子午線を0度とし、そこから東を東経、西を西経として、それぞれ反対側の180度（日付変更線付近）までで表す仕組みになっている。 |
| 問5 | 答え 1 アメリカ合衆国とスイスは、1990年から2020年にかけて1人あたりのGDPが顕著に伸びている。 | 1990年と2020年の数値を比較すると、アメリカ合衆国とスイスの2カ国は経済成長に伴い1人あたりのGDPを大幅に増加させています。これに対し、日本の成長幅はこれらの国に比べると緩やかです。また、1990年時点での各国の水準や、その後の成長の度合いを正確に把握することが、世界の経済格差を理解する上で重要です。 |
| 問6 | 答え 1 ブラジル | ブラジルは広大な耕作地を利用した世界有数のサトウキビ生産国です。1970年代の石油危機をきっかけに、輸入に頼る石油への依存度を下げるため、自国で生産可能なサトウキビを原料としたバイオエタノールの開発・普及を国策として進めてきました。 |
| 問7 | 答え 1 標高点 | 地形図において、山頂や特定の地点の正確な高さを数値で示したものを標高点と呼びます。これに対し、標高の等しい地点を結んだ線は等高線と呼ばれます。地形図を読み取る際は、これらの数値や線の重なり具合を見ることで、現地の地形や高さの差を把握することができます。 |
| 問8 | 答え 1 図の中心から各地点を結ぶ直線が、実際の最短距離（大圏航路）を表している。 | 正距方位図法は、中心からの距離と方位が正しく示される図法です。そのため、中心から引いた直線はそのまま地球上の最短距離である「大圏航路」となります。ヤクーツクのような近接する都市も、中心からの直線距離を測ることで最短経路を把握できます。ただし、中心以外の二点間の距離や方位は正しく表現されません。 |